

宮之城出張所だより

川内川の情報

をお伝えします

No. 1

H25. 2. 6

〔発行〕 国土交通省
川内川河川事務所
宮之城出張所

地域情報

◎2月3日、川内川の激特事業竣工式及び復興祭が行われました

平成18年7月に川内川流域に大きな被害をもたらした県北部豪雨災害に伴う「川内川河川激甚災害特別緊急事業竣工式」及びさつま町主催の「復興祭」が2月3日（日）、さつま町虎居地区の川内川河川敷で開催されました。

式典は、流域5市町の首長や地域住民、国、県の関係者など約130人が出席して行われ、春の兆しを感じさせる青空の下、終始晴れやかに執り行われました。式典に併行して開催された「復興祭」では、「復興之碑」の除幕式や「復興ウォーキング大会」も開かれ、整備された川内川河川敷に住民の皆さんの笑顔があふれました。



完成を祝うくす玉開披



除幕される「復興之碑」



伊藤祐一郎知事による式辞



約200人の参加により行われた
復興ウォーキング大会

宮之城出張所では、整備された堤防の点検や河川巡視を行い、今後起こりうる洪水に備えて定期的に維持管理を行っていくとともに、自然にやさしく、より一層地域に親しまれる川内川となるよう管理を進めていきます。

■平成18年7月県北部豪雨災害の概要

- 〔降雨状況〕流域各地で1,000mmを超える記録的な豪雨が発生
5日間(7/19~23)の降雨量が、1年間で降る総雨量(川内川流域)約40%に達する
- 〔水位状況〕宮之城観測所や湯田観測所など、流域の11箇所の水位観測所において
観測史上最高水位を記録しました。
- 〔被害状況〕川内川の上流から下流に至る3市2町の136箇所で浸水被害が発生、
甚大な被害となりました。
流域全体:死者2名、床上浸水1,848戸、床下浸水499戸、浸水面積2,777ha
(内、さつま町:死者1名、床上浸水850戸、床下浸水89戸、浸水面積302ha)

■川内川河川激甚災害対策特別緊急事業の概要

- 〔事業目的〕平成18年7月洪水の外水はん濫による家屋の浸水被害を解消する。
- 〔採択延長〕62.3km(全国歴代2位の規模)
- 〔事業費〕約375億円(国:約350億円、鹿児島県:約22億円、宮崎県:約3億円)
- 〔事業内容〕築堤(河川堤防)約16km
河道掘削 約200万m³(推込分水路の掘削 約70万m³を含む)
事業箇所 37箇所(橋梁、水門・樋門など)
- 〔これまでに発揮された事業の効果〕
平成23年7月洪水では、平成18年洪水に次ぐ史上2番目となる洪水(鶴田ダム
最大流入量における比較)を経験しましたが、虎居地区では推込分水路等の整備
により、激特事業前と比較して洪水時の水位を大きく低減させることができました。

「宮之城出張所だより」は、ホームページに掲載されています

川内川の出来事や工事(さつま町)などの情報を、住民の方々に提供するために「宮之城出張所だより」を発行しています。

また、川内川河川事務所ホームページ(新着情報&お知らせ)でも閲覧できます。

川内川に関する情報、意見などお寄せ下さい。

◇ ホームページアドレス ◇

<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>



宮之城出張所 庁舎



川内川についてのご意見・要望等はこちらへ
国土交通省川内川河川事務所
宮之城出張所 電話:0996-53-1756